

新潟の海、折々の景色

藤田 未加子

新潟に住んで 33 年になりました。出身は三重県、津市のカトリックの女子高から同志社女子大へ進み就職で上京、柏崎出身の主人と知り合いました。次女が 2 歳の時に主人の転勤で新潟市民になりました。



伊勢志摩国立公園のリアス式海岸の真ん中あたりで育ちましたので、海って青くキラキラして穏やかで、小さな島々の緑の間を小型船が織りなす V の字の白波が縫うように走ってゆく、そうゆうものだと思っていました。ところが新潟の冬の荒れたその姿を初めて見たときは認識が甘いと海に叱られている感じがしました。もちろん春になって穏やかな優しい海の姿に癒されながら、太平洋と日本海を両方知ってるなんて



◆編集後記

新潟市の鳥屋野潟を彩るソメイヨシノは開花調査の基準となる桜だそうです。3月31日、今年は調査開始以来、最速の満開となったとのことでした。思えば今年の記録的な大雪もわずか数ヶ月前。冬来たりなば春遠からじと言いますが、これほど早く新潟にも春が訪れるとは驚きました。

学生時代の桜といえば、京都御所の桜を思い出します。新歓の時期でもあり、様々な思い出と共に色褪せない記憶の 1 つです。あれから年月も経ち、私自身、新島襄先生が永眠された 46 歳を迎えましたが、未だ

贅沢だわと思っています。

校友会同窓会の皆様と知り合いになれて思うのは、転勤でいらっしゃった方はその間に新潟を色々楽しんで頂きたいと思います。今までに見た「これは！」というシーンを少しでも記したいと思います。白鳥がいる時期の佐潟の夕刻、一日の食事を終えて佐潟に戻ってくる時刻。桜の時期、紫雲寺の桜並木。満開の時はもちろん散る時に行ってみたいもの。タイミングが難しいですね。銀杏を見るなら少し遅めに蛭野(ヒルノ)。村松・慈光寺に至る途中、最近カメラ諸氏が多くなった気がします。紅葉の荒川峡谷。川沿いの R113 を走ってみてください。是非。



最後にまた海の話になりますが、海に沈む太陽、その時の水面、空の色の移り変わり。波打ち際を歩いている人たちが逆光で影絵のように見える僅かな時間。そうゆう夕刻の景色が素敵に思えてなりません。三重では凡そ海から朝陽が昇りますが新潟では夕陽が海に沈むと知った時は結構な衝撃でした。これからも新潟で折々の景色を楽しみたいと思います。

(1977年 学芸学部卒)

何事も成し得ず、改めて先生の偉大さを思います。

昨年からのコロナ禍により、私たちの生活は一変しました。延期された東京五輪が果たして開催されるのか、現時点では確信を持ってません。そんなときにふと満開の桜が目に入ります。不確実な時勢にあって、桜だけは俗世にとらわれず、毎年変わらぬ姿を見せてくれます。過去から人々に愛された所以でしょう。

またいつか、同志社のそばで御所の桜を詣でる日を願って、コロナ禍の日々を忍んでいこうと思います。冬来たりなば春遠からじ、と。(地紙実・1999年 法学部卒)



同志社 新潟

DOSHISHA NIIGATA

同志社校友会新潟県支部 同志社同窓会新潟支部(女子部)
発行人 河端信雄・山本もろみ
事務局 新潟プレハブ工業(株)内 市川清
〒950-0911 新潟市中央区笹口2-29 TEL 025(247)7117
Eメール: info@niigata.doshisha-alumni.org



同志社フェア in 新潟

8月21日(土)新潟市で

全国大会の同志社フェア in 新潟(同志社大学主催、同志社校友会本部共催、同志社校友会新潟県支部協力)が8月21日、新潟市の朱鷺メッセなどで開かれます。同志社フェアは地域の方々との交流を深めることを目的に、毎年国内 2ヶ所で開催してきました。昨年2020年はコロナ禍の影響で実施することができませんでした。



佐藤 優氏

今回の「同志社フェア in 新潟」では、同志社大学出身で作家の佐藤優氏による文化講演会を開催します。佐藤氏は2015年に坂口安吾を記念して創設された「安吾賞」を受賞しています。また「佐藤優のウチナー評論」が新潟日報に掲載されており、新潟に馴染みの深い作家として幅

広く活動しています。さらには、2020年に、日本文学振興会より第68回菊池寛賞を受賞されました。続いて開催される演奏会には、創立117年を迎えた伝統ある同志社グリークラブと、多方面において積極的に活動を展開されている新潟清心女子中学・高等学校のハンドベル部の皆さんが出演します。詳細は同封のチラシをご覧ください。第1部は入場無料、第2部の卒業生交流レセプションは会費4,000円が必要です。



同志社グリークラブ



新潟清心女子中学・高等学校ハンドベル部

お問い合わせ先 同志社校友会新潟県支部 事務局 新潟プレハブ工業(株)内 市川清
〒950-0911 新潟市中央区笹口2-29 TEL 025(247)7117

疎遠になっていた旧友と

丸稲興業(株) 代表取締役 稲川 一男



1977年に卒業後は地元の北越銀行(現、第四北越銀行)のお世話になり25年前に退職し現在に至っています。最近は通信ネットワークの進歩と共にずっと疎遠になっていた関西在住の旧友とも簡単に連絡が取れるようになり長岡の大花火大会に来てもらい(その際には山古志の牛の角突き小千谷の錦鯉鑑賞も織り交ぜて)とても喜ばれています。

平原綾香の「Jupiter」とともに打ち上げられる「復興祈願花火フェニックス」は、どうしても中越地震を思い出してしまいます。地震の際は当初車中泊をしていましたがエコノミー症候群の危険があるということで近くの小学校に避難しました。段ボールを敷いて徳

島市消防局と印刷された毛布に包まり岩手県の名水ペットボトルが配給されました。全国の皆様の迅速な対応には感謝しています。

関西の友人には旬の食べ物の写真を送っています。3月は雪解けと同時に信濃川の土手で採ってきたふきのとうの天ぷら。4月下旬は山菜の王様、木の芽(堀口大学はこれを食べたい為に取材と称して十日町を訪れ十日町地区の小学校校歌の作詞を引き受けたと聞いたことがあります)。夏は鯨の味噌汁、秋は菊。お前は観光大使かと言われます。もちろん写真だけでなく現物も送りますが「栃尾の油揚げ」「ル・レクチュ」は評判が良いです。

ふとその昔、京都では何を食べていたのかな。「空腹こそ最大の調味料」という通り何を食べても美味かった。コロナ禍の中、京都を訪れるのも儘ならない時節ですが落ち着いた折には学生時代には全く縁の無かった日本庭園を眺めながら湯豆腐でのんびりとした時を過ごしたいものだ。(1977年 経済学部卒)

私にとっての京都と同志社大学、そして新潟

セコム上信越(株) 代表取締役社長 山中 善紀



高校生の時に、金沢を舞台にした旧制四高・柔道部員と生活を共にする井上靖の自叙伝『北の海』に深く感銘をうけて、旧制高校の雰囲気の色濃く残す学生を育てる街への強い憧れがありました。また、高校でもラグビーをしていましたが、運動部と云えば指導者への絶対服従に代表される精神論中心の時代に、選手の自主性を重んじたチーム運営で大学ラグビーの頂点にたった同志社大学ラグビー部の印象は鮮烈でした。

まだまだpureだった高校生・山中くんの選択肢は、『京都で暮らし、同志社大学ラグビー部で日本一を目指す』これ以外には無く、親を説得し浪人までして京都に向かったのが人生の大きな岐路の一つです。

1985年にセコム(株)に入社、30才まで自社ラグビー

部で仕事とラグビーの両立にチャレンジしていました。国内外に数多の出先を有している会社ですが、奇跡的に関東圏内の通勤ばかりで、圏外での職場は18年前の金沢に次いで新潟が2度目です。どうやら私は「越の国」に縁があるようです。居を構えて早1年が経とうとしていますが、海に山に満載の自然、確固たる伝統文化と歴史、また、それなりの都会でありながら都会ずれしていない人情味溢れる街・新潟で地域会社の経営を任せられ、人生の財産作りをさせて頂けることに大変感謝しています。残念ながらいつかは次の赴任地に赴かねばなりません。新潟在住中に、私なりに何らかの形でこの地に恩返しが出来ればと考えています。また、食・自然ぎっしりの新潟を大いに堪能したいとも思っています。(1985年 商学部卒)



元ラグビー日本代表 林敏之氏と

に赴かねばなりません。新潟在住中に、私なりに何らかの形でこの地に恩返しが出来ればと考えています。また、食・自然ぎっしりの新潟を大いに堪能したいとも思っています。(1985年 商学部卒)

新潟県支部長 河端信雄氏が「同志社タイムス」に掲載されました



河端 信雄氏

河端支部長が、校友会全国紙「同志社タイムス」4月号に掲載されました。文章を要約してお届けします。

—新潟のご出身ですか？

実は就職で新潟に来たんです。大学は1972(昭和47)年に商学部を卒業しました。大和ハウス工業に入り、初任地が新潟という訳です。30歳の時に一念発起して、独立したのが今の会社、新潟プレハブ工業です。もともと地縁のなかった土地だったので、人脈を作らねばと青年会議所の活動などに参加した流れの中で校友会新潟支部ともご縁ができました。

—新潟県支部はどんな感じでしょう？

私は福井出身で前史がないまま支部に入ったのですが、12年ほど前に支部長を仰せつかりました。実は支部長にと推された時、固辞したんです。自分は新潟の出身でなく県人会活動をしていた訳でもないし。しかし今は逆に、よそから来た人でも入りやすいような支部作りを目指しています。350人が登録している所帯です。コロナ禍で会う機会が減りましたが、それまではちょっとした打合せでも集まって、終わったら新潟の日本酒で一献が基本ですね。支部の運営は若返りを図ろうと考え、新任の幹事を10人選びました。新潟には個性的な企業も、元気のいい企業もあり、今回も上場企業のトップにも入ってもらいました。

新潟での同志社は、過去の名簿などを手繰っていくと設立は古く、1940(昭和15)年の支部名簿に新潟県支部が初めて出てきます。80年程の歴史があるんですね。それで同志社フェアを新潟で、ということになり、今年夏に開催の予定です。新潟で同志社の存在感をアピールして、多くの若人が同志社を目指すようになればと思います。

<歴代支部長>(敬称略)

- 島本 欣爾 1940年11月～1970年11月(民間)
- 高橋 勝 1970年11月～1982年11月(牧師)
- 中村 博 1982年11月～1987年11月(牧師)
- 春名 康範 1987年11月～1993年11月(牧師)
- 石田 瑞穂 1993年11月～2008年11月(民間)
- 河端 信雄 2008年11月～現在に至る(民間)

令和2年度会計報告(令和2年4月～令和3年3月)

(収支計算書)				単位:円
	全体	校友会	同窓会	主な内容
(収入の部)	415,200	399,200	16,000	
会費収入	157,000	141,000	16,000	校友会70名、同窓会8名
校友会支部活動助成金	258,200	258,200		
(支出の部)	128,420	111,257	17,163	
会報関連費用	80,567	67,404	13,163	会報印刷費、発送費、打合せ会場費
会議費	20,000	16,000	4,000	役員会費一部助成
支払手数料	11,318	11,318		会費収入振替手数料
対外活動参加費用	8,750	8,750		立命館大学新潟県校友会総会参加費
同志社フェア準備費用	7,785	7,785		打ち合わせ会場費等
収支差額	286,780	287,943	△1,163	
前期末正味財産	959,026	861,395	97,631	
当期末正味財産	1,245,806	1,149,338	96,468	

(財産目録)				単位:円
	全体	校友会	同窓会	主な内容
(資産の部)	1,254,768	1,158,300	96,468	
現金	2,000	2,000		会費現金入金
預金	1,252,768	1,156,300	96,468	郵便振替(口座番号00600-9-2704)
(負債の部)	8,962	8,962	0	
預り金	8,962	8,962		ALL DOSHISHA 募金巡回交通費預り
(正味財産の部)	1,245,806	1,149,338	96,468	
当期末正味財産	1,245,806	1,149,338	96,468	

*令和3年度総会にて報告予定

はじめまして



牧野 美和子さん 長岡藩主牧野家第17代当主牧野忠昌氏夫人(1974年 工学部卒) 女子中高、大学と10年間同志社にお世話になりました。亡父は文学部美学で教えておりました。結婚後東京や逗子市で暮らし、2015年長岡に転居いたしました。新潟のお米、日本酒、山の幸海の幸を堪能して居ります。



樋口 啓二さん 上越スターチ(株) 代表取締役社長(1979年 経済学部卒) 長岡市在住で単身生活5年となりました。自宅は奈良県南部の吉野に近いところ。新潟は2回目の赴任で、前回と合わせて8年ほどになります。新潟で同志社出身者が多数活躍されていることや、新潟支部が有ることを知り、心強く思っています。今しばらくはこの新潟の地で頑張りたいと思います。



淵本 友隆さん (株) 淵本鋼機 代表取締役社長(2003年 商学部卒) 12年前、父である前社長が急逝し、10年間住んだ関西の地を離れ故郷長岡に戻り、事業を承継いたしました。無我夢中で駆け抜けた12年間でしたが、一燈となったのが同志社大学の教育理念である「良心」であり、常にこの言葉を判断基準とし、経営に従事して参りました。微力ながら本学の発展に貢献して参りたいと思います。



池永 明博さん 新潟ダイヤモンド電子(株) 常務取締役総務部長(2012年 経済学部卒) 同志社との関係は高校から7年間となります。高校ではアメリカンフットボール部、大学では体育会日本拳法部と学生時代はスポーツに明け暮れておりました。高校のアメフトでは京都選抜(弟たちは日本代表)、大学の日本拳法では新人戦優勝と成績を残す事ができました。現在は燕市の電子機器メーカーに勤務しており、総務部にて日々連戦猛進しております!